

7	読む	語句の意味をとらえる(慣用句) 〔確認〕	名前	解答
---	----	-------------------------	----	----

慣用句文脈の中で正しく使うためには、それぞれの慣用句の意味を考え、文全体の意味と照らし合わせるということです。

身に付けると...

日常会話や文章の中での表現が豊かになります！

やってみよう 「解答と解説」

一 イ

- ア 襟を正す：姿勢を正して、気を引きしめる。
- イ 顔から火が出る：大変はずかしくて真っ赤になる。
- ウ つむじをまげる：気分を損ね、意地悪く反対して従わない。
- エ 目も当てられない：あまりのひどさに見ていられない。

二 イ

- ア 手をひく：関係を断つ。
- イ 水をさす：うまくいつているのにじやまをして不調にする。
- ウ 示しがつかない：他人を教えさすための手本にならない。
- エ 胸を借りる：上位者に練習の相手をつとめてもらう。反対の意味を表す慣用句に「胸を貸す」がある。

三 (1) エ

- ア 火の車：生計が極めて苦しいこと。
- イ 対岸の火事：自分には全く関連のない出来事で、痛くもかゆくもないこと。
- ウ 氷山の一角：明るみに出た、物事全体のほんのわずかの部分のたとえ。
- エ 水の泡：努力などがむだになること。

(2) イ

- ア 息をのむ：はっと驚く。
- イ 目をむく：おこつたり驚いたりして目を大きく見開く。
- ウ 鼻を高くする：自慢をする。誇る。
- エ 舌を巻く：驚き恐れ、あるいは感嘆して、言葉も出ない。

四 この問題では、描写に即して人物像を読み取ることが大切です。そして、とらえた人物像に当てはまる慣用句を選びます。

(1) エ

・「こつたがえす人混みの中で、父はいろんな人からあいさつをされている。」の一文に注目します。すると、父には知り合いが多いということが分かります。つまり、知り合いが多い 顔が広い

(2) ア ウ

・「なかでもリンゴ飴はかかせない。」の一文に注目すると、とても好きだということとが分かります。つまり、とても好き 目がな
・「祭の実行委員になることは精神的にもつらく、負担も大きい。」の一文に注目すると、任務や責任が能力以上であることが分かります。つまり、責任が重い 荷が重い